

境港市ことぶきクラブ連合会広報紙



健康・友愛・奉仕

ことぶき

第61号

発行日
令和7年7月15日

■編集・発行：境港市ことぶきクラブ連合会

〒684-0043 境港市竹内町40

島根半島を背に
秀峰大山を仰ぎながら
巨大なクルーズ船が
夢みなとターミナルに錨を降ろす
国際色豊かな多くの乗客たちが
観光地へと散らばっていく

クルーズ船に乗って
境港からの

そして夕刻、市民の盛大な見送りを受け
日本各地や世界へと出港してゆく

路
みち



ダイヤモンドプリンセス

地域の人々と共に

境港市ことぶきクラブ連合会

会長 川口 昭一



令和7年度境港市ことぶきクラブ連合会評議員会が4月27日開催され、松本廣治氏(渡ことぶきクラブ)が議長を務められ、今年度の行事計画と新役員が決定致しました。6年間副会長として積極的に活躍された足立勝也氏が退任されて、後任は竹内健治氏が就任しました。その他の役員は留任となりました。これから2年間、新たな気持ちで会員の皆様と共に元気で楽しく過ごせる、地域に根付いた高齢者クラブ活動を実施いたします。さて、今年一番目の目標は「若手会員の勧誘と増強」です。他の団体で70歳の方を

若手と云うと笑われますが、人生百年時代を健康で活動する我々の仲間では、75歳はまだ若手会員と呼ばれています。70歳で入会して80歳まで現役時代の知識と技能を十分に発揮して組織の改革を担って頂ければ幸いです。

二番目は、境港市が県内で先駆けて実施している「フレイル予防活動」に参加して、いつまでも健康で元氣な皆さんの姿が地域の高齢者の見本となり、虚弱体質や認知症の予防活動を盛り上げて頂きたいと思います。

三番目は、各委員会が計画する行事に進んで参加してスポーツ・文化・ボランティア活動で出会いを楽しみ、心と身体 の健康維持のために市寿連の行事を活用してください。

また、これらの行事に高齢者クラブ未加入の方を誘って参加し、高齢者団体の活動状況を知って頂ければと思います。

会員の皆様、今年度も「笑顔あふれる日本一の住みたいまち 境港」で地域の人々と共に活躍する「境港市ことぶきクラブ連合会」の行事にご協力をお願い致します。



4月開催の評議員会（みなとテラス）

新副会長のあいさつ

境港市ことぶきクラブ連合会

副会長 竹内 健治



今年の定期評議員会の数日前に川口会長から、副会長をお願いしたい旨の要望があり、熟慮の末にお受けし、評議員会にて承認を頂きました。

ご存知の方もおられると思いますが、現在はまだ健康委員長も兼務しております。委員長はいずれ交代して頂く予定ですが、それまで皆様方にはご協力を頂きたく、今後ともよろしくお願い致します。

さて、我が市寿連に於きましても更なる高齢化が進む中、会員が増える地区はほとんど有りません。これに対し会員数増強に向けて計画等を立て、魅力のある組織づくりを考えて、皆様と共に良い方向へ向かえるよう努力したいと考えておりますので、暖かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ことぶきクラブ連合会の思い出

境港市ことぶきクラブ連合会

前副会長 足立 勝也



平成24年の湊町クラブ総会に於いて会長へ選出され、その際前任者より連合会の理事も兼ねるとの引継ぎを受け、連合会役員の仲間入りをしました。

その後健康委員会へも参加し、打越委員長の下で委員長が立案された手書き文章のパソコン処理を手伝い、各種運動行事のシナリオ造りをさせて頂きました。その中で、会員の皆様は行事に多数参加され大会を盛り上げて下さり、また役員の方々にはシナリオに従って作業をして頂き感謝しています。

令和元年の役員改選で、副会長へ選出後は連合会の雑事は副会長の役割と思い、備品管理、役員変更手続き、出納業務補助、事務連絡作成等を行いました。その中で令和六年度は「ことぶき創立60周年記念」に当たる行事を開催し、「10年小誌

発行」においては、今まで取り組んで来た業務の中から情報を得て、作成出来ました。

また当年度は鳥取県で開催の、全国健康福祉祭(ねんりんピック)に、eスポーツ(太鼓の達人)が初めて採用されて、おまけに開催地が境港市のため、ことぶきクラブへの期待が高まりました。そこでことぶきクラブ連合会にて3台のセットを用意し練習に励んだ結果、当クラブより3チームが県代表として参加できました。1チームは全国3位となる活躍をする一方、米子市で開催された地域文化伝承館(地域の芸能・文化の普及活動の発表)では、境港市からステージ発表に4サークルが参加して会場内で大輪の花を咲かせました。またフロア発表では2サークルが参加しましたが、木彫の鳥があまりにも生き生きとしていて、剥製と見間違えたの声が上がりました。

副会長の大役も、皆様の御協力があったからこそ無事に成し遂げる事が出来たのであり、深く感謝致しています。ありがとうございました。

令和7年度 事業計画

Ⅰ. 基本方針

「のぼそう!健康寿命・担おう!地域づくりを」を合言葉に、会員はもとより、全ての高齢者が、住み慣れた地域で健康で楽しく、生き甲斐のある生活を実現するため、関係団体と連携し充実した活動を推進します。

Ⅲ. 事業計画

月	日	市寿連関係行事
4	18(金)	県ニュースポーツ体験会(米子産業体育館)
	22(火)	写真を語る会
	25(金)	市寿連 評議員会(みなとテラス)
5	15(木)	市寿連・市交通安全協会グラウンドゴルフ大会
	16(金)	幸朋苑 演芸発表会(ナマステホール)
	29(木)	弓ヶ浜サイクリングコース応援隊(清掃活動)
6	7(土)	ターゲットバードゴルフ大会(市民体育館)
	各地区	全国一斉奉仕の日
	各地区	第1回 友愛訪問
7	下旬	「ことぶき」第61号発行
	2(水)	ことぶき研修会(文化ホール)
	3(木)	高齢者スポーツ大会(市民体育館)
8	下旬	市寿連 幸せつなぐ川柳作品募集 開始
	25(金)	写真を語る会
9	9(土)	傾聴講演会(みなとテラス)
	未定	友愛訪問活動員研修
	下旬	市寿連 幸せつなぐ川柳作品募集 締切り
10	3(水)	施設訪問(光洋の里)
	18(木)	ニュースポーツ大会(市民体育館)
	未定	岩美町女性委員会との交流会
11	未定	写真を語る会(撮影旅行)
	8(水)	ことぶき文化祭・川柳大会(文化ホール)
	各地区	第2回 友愛訪問
12	未定	済生会境港総合病院清掃活動
	31(金)	写真を語る会
1	1(土)	健康ウォーキング大会(竜が山公園)
	16(日)	浜の里まつり
	22(土)~23(日)	ことぶき作品展(浜の里)
2	未定	境港市民社会福祉大会
	未定	女性委員研修会
	未定	総務・広報・若手委員会交流研修会
3	未定	境港市 健康づくり研修会
	未定	市寿連 新年研修会
	30(金)	写真を語る会
4	各地区	第3回 友愛訪問
	下旬	「ことぶき」第62号発行

Ⅱ. 重点目標

- 会員の加入促進活動
- 健康づくりと認知症予防活動の推進
- 文化芸能活動の推進
- 傾聴講演会の開催
- 生活支援とボランティア活動の推進

Ⅳ. 予算計画

収入の部		
項目	予算額(円)	摘要
1. 会費	594,600	300円×1,982人
2. 市補助費	1,682,740	
3. 社協補助費	50,000	
4. 協賛広告費	0	
5. 雑収入	284,010	
6. 繰越金	441,998	
合 計	3,053,348	

支出の部		
項目	予算額(円)	摘要
1. 運営費	410,000	
2. 事業費	2,628,000	
総務委員会	570,000	サイクリングコース応援隊 清掃社会奉仕 新年研修会等
健康委員会	313,000	ニュースポーツ大会 高齢者スポーツ大会 交通安全GG大会 健康づくり研修会等
広報委員会	375,000	広報誌「ことぶき」61、62号発行 幸せつなぐ川柳大会 ホームページ発信等
文化委員会	325,000	ことぶき文化祭 ことぶき作品展 幸朋苑演芸発表会 写真教室等
女性委員会	830,000	ことぶき研修会 友愛訪問事業 女性委員研修会 施設訪問等
旅行委員会	40,000	研修旅行計画の立案等
若手委員会	90,000	ターゲットバードゴルフ大会 健康ウォーキング大会 済生会病院清掃等
傾聴委員会	85,000	傾聴講演会 傾聴ボランティア活動等
3. 予備費	14,348	
4. 繰出金	1,000	
合 計	3,053,348	

令和7年度

活動のあしあと

健康委員会

健康委員長 竹内 健治

第36回市寿連・交通安全協会合同 グラウンドゴルフ大会

令和7年5月15日、気持ちの良い気候の中で、境港市民スポーツ広場に130名の選手役員が集い、市長をはじめ各界の方々を招待して開会式を執り行いました。

今年は過ごしやすい気候にも恵まれ、コースを工夫して移動距離も減りましたので、ハイペースで快適な試合運びとなりました。結果はやはりベテランが首位に並びました。



左より(敬称省略)

【3位】伊藤 浩二、【優勝】足立 寿美、【2位】南家 武志郎



文化委員会

文化委員長 渡部 靖郎

幸朋苑演芸発表会

5月16日(金)さかい幸朋苑内のナマステホールにおいて、文化委員会主催で演芸会が開かれました。この会は本年でもう17回目となります。

施設入所者の方々は毎年この発表会を楽しみにしておられ、本年は主催者側と出演者を含め43名、入所者の方々は110名もの参加があり、会場は熱気に包まれました。車椅子の方達は踊りに手を合わせ、その楽しそうな姿を施設の方が盛んに撮影されておられました。その光景を見るにつけ、皆さんの喜びが伝わって来て、我々としてもこの行事はぜひ続けなければならないと思いました。



*17回目を迎えた幸朋苑演芸発表会



サイクリングコース応援隊

総務委員会

総務委員長 水落 篤

令和6年5月29日(木)、「サイクリングコース応援隊」で清掃活動を実施しました。天候は薄曇り。暑くなくて絶好の清掃日和でした。

この事業も今年で5年目。コロナ禍でも中止せず続けた結果、このコースの清掃は通算8回目となりました。今年は行事が重なり減るかなと思っていた参加者は昨年と同数の91名が参加されました。

このコースの清掃には他にも多くの団体が参加しており、目立ったゴミはありませんが、それでもコースから外れた場所にはペットボトルや発泡スチロールなどが隠れています。地道な活動ですが、遠くでも視界に入るゴミを取り除くと更に気持ちが良い自転車道になりました。



若手委員会

若手委員長 湯浅 明美

ターゲット・バードゴルフ大会

6月7日、市民体育館にて21名が参加して、第14回大会が開催されました。好天に恵まりましたが、日陰もない灼熱のコース。しかし誰一人ギブアップすることなく、プレーに熱中しておられました。このゴルフは近距離用のクラブ一本だけで、羽の生えたボールをゴールである中空に浮かんだ巣のようなカゴに入れる競技です。たとえばゴールに近づいたとしてもボールを浮かせてカゴに入れるのは至難の業。しかし上手な方は奇跡のようなプレーを見せてくださいました。



左より(敬称省略)

【2位】大江 正章、【優勝】井田 征二郎、【3位】南家 武志郎



第15回写真を語る会

中浜西地区理事 松本 功

4月22日、浜の里にて8名の参加で開催されました。

今回は写真の主題を明確にするということで、プロの写真と私の写真を参考に学習しました。

その後、参加者が持参した作品を皆で見ましたが工夫した作品が多く、みなさんの成長の跡が読み取れました。



私の写真を参考に見る



皆さんの写真を見る

境港市ことぶきクラブ連合会

第6回(令和7年度) 幸せつなぐ川柳大会 川柳作品募集

趣 旨 川柳作品を創作することにより、心豊かな潤いある生活をおくることを目的とする

課 題 『笑う・わらう』

作 品 趣旨にのっとり、「五・七・五」の川柳作品、1人3点以内募集

募集期間 令和7年7月20日(日)～8月31日(日)

応募先 作品に住所・氏名・電話番号を明記の上、
境港市ことぶきクラブ連合会 事務局 丸山まで
〒684-0043 境港市竹内町 40 番地（境港市社会福祉協議会内）
TEL 45-6116 FAX 45-6146 郵送でも可

審 査 境港市ことぶきクラブ連合会の委託する審査員にて選考

その他 応募用紙は連合会事務局と市内各公民館にあります



潮 風

背番号3とリハビリ

ミスタープロ野球長嶋茂雄
さんが亡くなりました。現役
当時のスター姿もさることながら、私
は、長嶋さんの懸命なりハビリ姿が忘
れられません。

東京オリンピック聖火リレーでラン
ナーの時、周りの方々から車椅子参加
を勧められながらも「自分の足で走る」
と敢然と走り抜かれました。あの姿と
以後のリハビリ実践の苦闘の姿は、高
齢社会の素晴らしいモデルとして報道
され、直面する高齢者への大きな励み
になっています。

境港市と背番号3、長嶋茂雄さん
は、昭和30年当時、広島カープのピッ
チャー・拝藤宣雄さん（境高出身）と立
教大学で同期、大の仲よしでした。その
ご縁で境高の野球部は台球場場で随
分と立教大学の指導を受けました。

かつての名選手も加齢によって、そ
の美しさを失うことはやむをえませ
ん。ただその時を恐れない高齢期に備
える努力をしたいものです。

（広報委員 遠藤 量）

文芸欄



はまのめ短歌会

亡き君の好みし紫陽花咲き初めて

清き十九の君し偲ばる

足立ひと美(三軒屋町)

短歌へと誘ひくれて今があると

故郷離るる友の電話に

磯邊 岑子(上道町)

わだつみの使ひなりしが初がつを

釣られ捌かれ刺身に叩きに

大谷 和三(竹内町)

窓辺より学童の歌聞え来て

歩みの止まる母校の通り

北野寿美子(中野町)

束の間の日差しを受けて小鳥飛び

静かなる昼のひと時となる

古志 和恵(米子市)

ことごとくミス重なりし日の終わり

せめて火の元確かめて寝む

重森 弘行(誠道町)

足湯してタライで洗う父の足

一緒に歌った「海はひろいな」

渡部 栄子(米子市)

無辜の子ら戦禍に死ぬをムハンマド

釈迦イエズスは何と説かずや

甲斐 清明(中野町)

夢みなと短歌会

形から(風の電話)を思はせる

表通りの電話機はづさる

安達 駿吉(渡町)

バス停の夜の大気を吸い込めば

ほのかに溶けている木蓮の息

生田 延子(南部町)

春くれば噴き出すやうに咲ける花

老桜の生に立ち尽くしをり

佐伯 立子(米子市)

先がけて咲く一輪が杖をつく

吾を呼び止むる 見上げてごらん

佐々木千代子(高松町)

娘の帰国待ちわぶるうちに沈丁花の

つぼみに萌葱と紅きざす

渋谷 博子(上道町)

バルビネラの花穂を抱えてゆく朝

卯月の墓前は黄の華やぎ

松本加代子(渡町)

菜の花ぞ弥生の時代に渡来とう

黄に染めいしや青谷上寺地

松村 豊子(上道町)

お祝いは何が好いかと問う孫に

君の笑顔と答えておりぬ

湯浅 俊久(米子市)



